

## 令和元年度 第2回桜井市地域公共交通活性化再生協議会会議要旨

- 日 時 令和元年6月27日(木) 午後2時から
- 場 所 桜井市役所 西分庁舎 災害対策本部室
- 出席者 協議会委員11名(うち、代理出席者3名) 事務局4名
- 会議内容

挨拶 桜井市副市長 笹谷 清治

### 議案説明

- 1) 桜井市公共交通運行実施計画の一部改定について(資料1～資料2)

#### 【事務局説明】

- 資料により説明

異議なく、承認される。

- 2) 生活交通確保維持計画(地域内フィーダー系統確保維持改善計画)について(資料3)

#### 【事務局説明】

- 資料により説明

異議なく、承認される。

- 3) 市公共交通再編について(資料4～5)

#### 【事務局説明】

- 資料により説明  
(追加説明)

6月21日に西北部循環線が走っている纏向小学校区の区長会にて、

デマンドタクシーの説明と提案を行ったが、便数や料金、乗降場所等、明確に提示することができなかつたので、現状の材料では検討が十分にできないとの結論となった。そのため、引き続き8月下旬頃に具体的な事務局案を作成し、説明・提案を行いたいと考えている。

## 【意見】

- 現状においては、コミュニティバスを存続させ、今後の乗降数の推移を見ながら方針を決めていくとのことだが、一定の数値以下の乗降客数になったら運行をやめる、など、市のほうからある程度の基準、乗降客数を提示するべきである。
- 吉隠地区・纏向地区にデマンドタクシーを導入する場合は、奈良県の他の事例を見ると、上之郷地区のようにドアツードアで送迎を行うよう設定したほうが住民の方も利用しやすく、利用者数も増加すると考える。
- 吉隠の地形や国道の問題を勘案し、特に高齢者にはデマンドタクシーがふさわしいのではないかということで、近畿運輸局のサポートプランを受けて事務局が提示したが、吉隠地区では、現状では高齢者の交通手段については特に問題がないようで、コミュニティバス存続の要望となった。しかし、高齢者の自動車事故が多発していることを考えると、将来的には高齢者に優しい交通手段に切り替えなくてはならないだろう。ただ、高家デマンドタクシーの利用が少ないことを考えると、デマンドタクシーが一番ふさわしいかどうかというのは、一概には言えない部分もあろうかと思う。
- 吉隠地区では柵田などの観光に来られる来訪者もおられるのでバスを存続してほしいということだったが、観光協会のアンケートなどでは、とにかく桜井市は二次交通が不便で困る、という回答が非常に多い。観光のための二次交通となるとやはり一定の回数便を確保することなど必要になってくる。
- 近畿運輸局（奈良運輸支局）としても、吉隠地区についてはデマンドタクシーを提案させていただいたところではあるが、地区の総意として現状のコミュニティバス運行存続を望まれており、積極的に利用していきたいとのことなので、利用者数は少ない現状ではあるものの、これから利用者数の推移等注視していきながら、地区の交通のあり方

をどうしていくか検討いただければと思う。

- ・(事務局) これから今まで利用していなかった住民の方が利用していただいた場合、国道の危険性やバス停までの勾配の問題など、新しく気づかれる方もいるかと思う。少なくとも一年は利用者数の推移を見ながら、事務局としてもこれから検討を重ね、協議会にもはかっしていきたい。
- 再編は早ければ10月に行うということで今まで協議会で進めていたが、しばらく様子を見ていくということをお願いしたい。

#### 4) 消費税率引き上げに伴うコミュニティバス運賃の改定について(資料6)

##### 【事務局説明】

- 資料により説明

(追加説明)

総合福祉センター利用者に対して、運賃を100円にする割引を行っているが、市議会でも昨今問題となっている高齢者の移動支援について質問がされている中で、総合福祉センターの利用は主に高齢者であるということを踏まえ、100円に据え置きしたい。

異議なく、承認される。